

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	一般住宅火災における、状況判断のミスによるヒヤリハット事例
3. 体験した事例の中心的要素	防火造2階建て一般住宅で、2階西側開口部から火炎が噴出しており、路上注水した後に3連はしごにて1階西側開口部を破壊し、内部を確認するも火災現象等なく、電線障害によりはしご架梯場所が限られていたことから、若干の危険を予見しながらも、開口部の上部に伸梯、1階屋根上に上がり活動開始したところ、1階西側開口部より火炎が噴出し退路が断たれたとともに、隊員がはしご登梯中であれば、重度の負傷をしていた。
4. 体験した事例の原因・理由	電線障害によりはしご架梯場所が限られており、1階内部を確認するも火災現象等がなかったため、各隊員が安易な状況判断をしてしまったため。

【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------------------

【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 19 年 7 月 13 日 午後 1 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：2階建て一般住宅、1階西側開口部
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	墜落・転落、火傷・熱傷、
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、 [防火造建物]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	部署・筒先配備、放水活動、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[40]歳、 勤続年数[16]年、 現場経験年数[8]年、 階級[消防司令]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者B	年齢[40]歳、 勤続年数[21]年、 現場経験年数[18]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者C	年齢[50]歳、 勤続年数[29]年、 現場経験年数[26]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	Bが	2階西側開口部に路上注水活動した。	
経過2	B、Cが	1階西側開口部に3連はしごを架梯した。	
経過3	Cが	1階西側開口部を破壊し、内部を確認した。	火災現象等はなかった。
経過4	B、Cが	1階西側開口部の上部にはしご架梯した。	
経過5	A、B、Cが	はしご登梯、1階屋根にて注水活動した。	
経過6	A、B、Cが	1階西側開口部から火炎が噴出した。	退路を断たれた。
経過7	A、B、Cが	火勢が衰弱した時点で避難した。	
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

• •

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難・退避がうまくいった。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

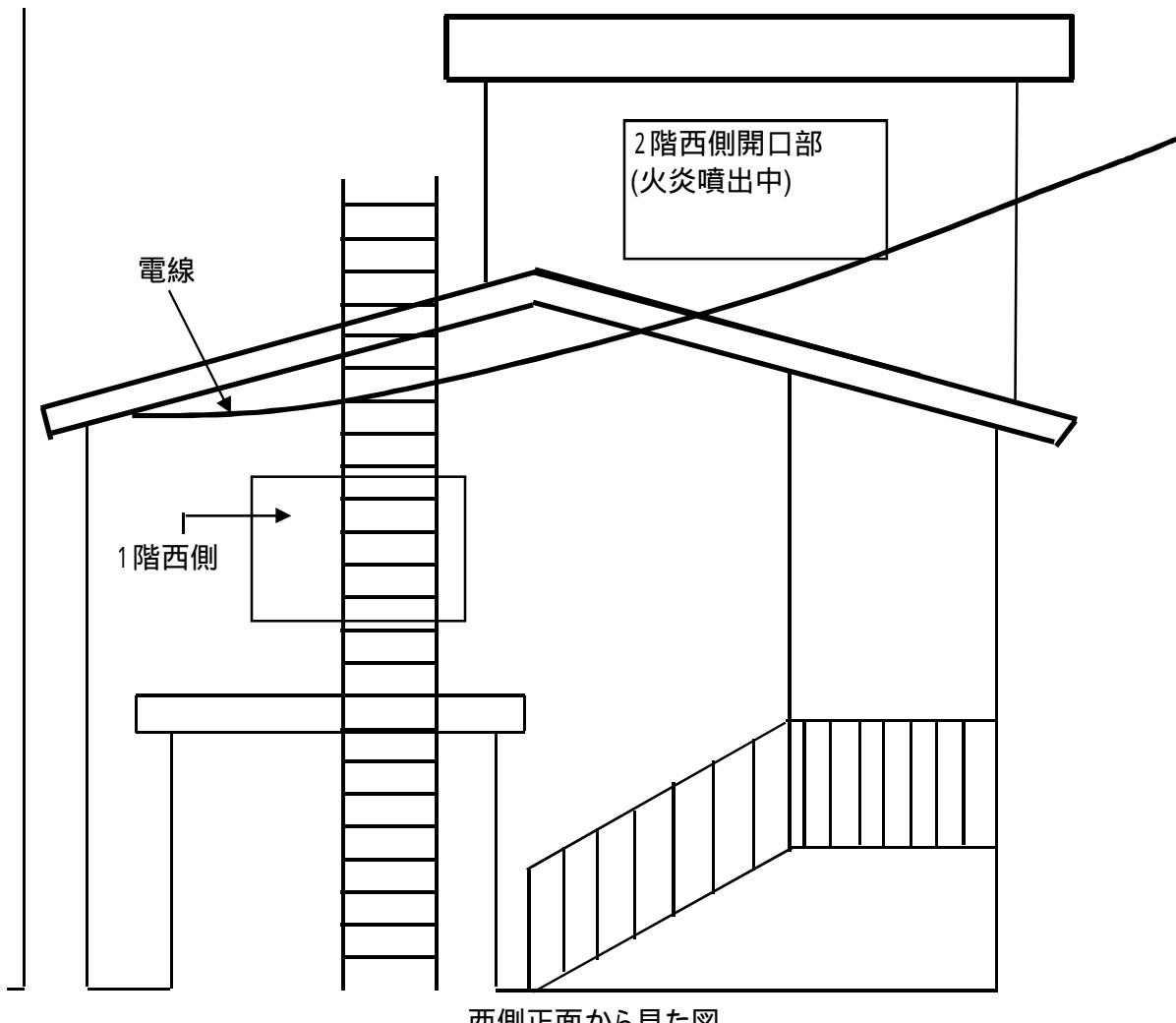
・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

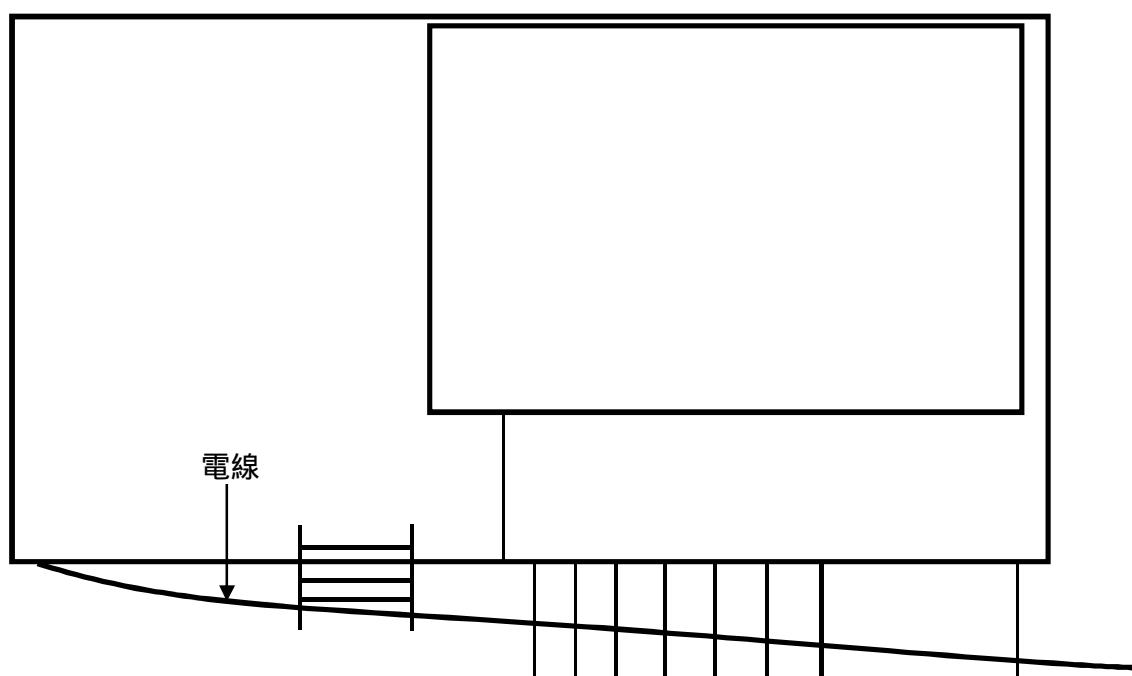
l. その他の理由があつた。

はい：状況判断のミス

ヒヤリハット事例 図面



西側正面から見た図



上方からみた図

○一般住宅火災における、状況判断のミスによるヒヤリハット事例
(同様の体験は、初めて体験した。)

(09J0075)

・発生日時 : 平成 19年 7月 13日 午後1時頃

経過	現場の状況	車長	隊員A	隊員B	備考
		車長／消防司令 ・年齢40歳 ・勤続 16年 ・現場 8年 ・同様の活動:初めて	隊員／消防士長 ・年齢 40 歳 ・勤続21年 ・現場18年 ・同様の活動:初めて	隊員／消防士 ・年齢50歳 ・勤続29年 ・現場26 年 ・同様の活動:初めて	
出動指令	出動指令				
出動途上					
現場到着	現場到着				
活動初期	防火造2階建て一般住宅で、2階西側開口部から火炎が噴出		2階西側開口部に路上注水活動		
	電線障害によりはしご架梯場所が限られていた		1階西側開口部に3連はしごを架梯	1階西側開口部を破壊	
				内部を確認	火災現象等はなかった。
			1階西側開口部の上部にははしご架梯		
	はしご登梯				
	1階屋根上にて注水活動				
	1階西側開口部から火炎が噴出		退路を断たれた		
	火勢が衰弱		避難した		
活動中期					
活動後期					
◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?					
○直接的な原因:状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。 ・避難・退避がうまくいった。 ・他隊(員)との連携活動がうまくいった。					

◎ヒヤリハットが起きた背後要因	
(心理・体調について) ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 (指揮・管理について) ・指示内容に誤り・偏りがあった。 ・隊員の連携が不十分だった。 (その他) ・状況判断のミス	